

介護ロボット全国フォーラム 2018
ICT・介護ロボット活用による取り組み事例「EGAO link」の紹介
～事例発表は全国で3社のみ～

2019年1月25日に行われました「介護ロボット全国フォーラム 2018」は、既に商品化あるいは、近々商品化を予定している介護ロボット等を一堂に集め、展示・説明・相談できる機会を設けるとともに、厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告を行い、さらには開発・普及に向けた先駆的な取組事例の紹介、介護ロボットに関わる施策の動向及び、介護現場からのニーズやメーカーによるシーズの報告などが行われるシンポジウム。当日は厚生労働省 老健局武井氏、経済産業書ロボット政策室吉村氏がロボット政策について説明が行われました。



また、介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調に関する取り組みを一般社団法人日本作業療法士協会会長の中村氏より発表。ICT・介護ロボット活用による取り組み事例(社会福祉法人青森社会福祉振興団様、社会福祉法人善光会様)の2社が発表の後、当社シニアホーム運営部中元が登壇しました。

20分という限られた時間で、EGAO linkの導入事例～活用により生み出された効果を発表させていただきました。ICT導入前の分業化について、「分業化しても短縮されない(ナースコール数・夜勤の定時巡視・介護記録)時間をどのようにITで解決したか。EGAO linkの活用により生まれた時間の活用事例(生活リハビリ数アップ、ご入居者と関わる時間数のアップ)を取得したデータを元に発表。導入だけではなく活用と効果に関してデータが蓄積できているという点」で評価を頂きました。



事例発表者: 株式会社アズパートナーズ シニアホーム運営部 中元 亮介



業界全体の課題である、人材不足、採用コストの上昇に対しても、IT の導入は不可欠であること。運営会社が現場目線で作り上げた IT が「EGAO link」であること、だからこそ、導入後には以下の結果に繋がっていることに興味を持って頂きました。(ADL 改善、FIM による日常生活評価結果、QOL にも貢献)

■ ICT/IoT 化

・介護業務効率化の ICT/IoT システム「EGAO link」とは

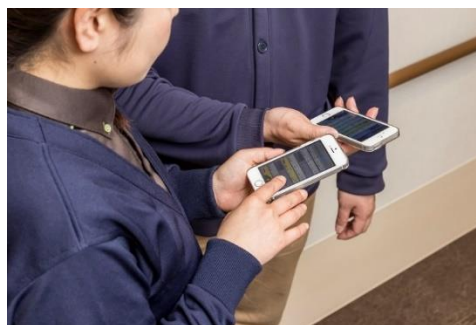
「EGAO link」は、「ご入居者の 24 時間の状況が、手のひらのスマホ 1 台で把握でき、記録と連動する！」業界初のシステムです。アズハイムシリーズではすでに 6 棟の導入しております。このシステムによって、記録入力や確認、ナースコール対応、ご入居者の状態把握が全て 1 台のスマートフォンに集約され、大幅な業務効率化を実現することが可能となりました。結果 2 名分の労務時間の削減につながっています。

また、その後も継続してデータ収集、効果測定を実施しており、新たに得られた効果として、1 日の生活リハビリのサービス提供人数のアップ、結果 ADL(日常生活)の改善事例も多数報告されています。

当社は、今後も関係メーカー各社と協同でデータ・成果共有を行いながら、『ご入居者・ご家族・ホームスタッフみんなの笑顔をリンクする』をコンセプトに、介護業界全体に貢献できる成果を得る為に活動し、「EGAO link」が業界で ICT/IoT のスタンダードのひとつとして、評価頂けるように進化させていきます。



センサー・コール・記録がスマホ 1 台に集約！



この件に関するお問合せ先

株式会社アズパートナーズ 事業推進部 広報・営業企画グループ
木戸岡・曾根

TEL03-5501-1881 FAX03-5501-1888